



西洋技術の手の内化を えど 加速した江戸の教育

日本人は江戸時代に西洋の時計の仕組みを理解し、独自の発想で全く新しい和時計を作りあげました。和時計は季節によって変わる日の出・日の入時刻に連動し、人々の生活時間が変化するこ
とを折り込んだ、時間の進み具合が変化する特殊な時計です。

外の技術を吸収して賢く加工する素地が、日本に備わっていた理由としては、藩校と寺子屋教育の存在もあったと言えるでしょう。その教育レベルは世界トップレベルだったと言われています。特に算術については「和算」が独自の発展を遂げ、科学技術発展の基盤となっていました。

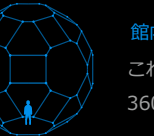


稚六芸の内書数「東京都立図書館所蔵」

館内企画展アーカイブ

バーチャル展示室

THE VIRTUAL
EXHIBITION ROOM 360



館内企画展アーカイブ **バーチャル展示室360** > <http://www.tcmit.org/360virtual/>

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展をご紹介します。デジタルアーカイブです。

360度VRコンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。



トヨタ産業技術記念館

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.